

短 報

愛媛県西宇和郡伊方町及び大洲市におけるカヤコオロギの生息地

水本 孝志*・佐伯 英人**

Habitat of *Euscyrthus japonicus* in Ikata Town and Ozu City, Ehime Prefecture

MIZUMOTO Takashi and SAIKI Hideto

Abstract : *Euscyrthus japonicus* is an insect listed on the Red Data Book of Ehime Prefecture. This is a report that this species was discovered to inhabit 2 areas, one area is Mt. Miharashiyama (Komo and Kojima) in Ikata Town, Nishiuwa District and the other area is National Ozu Youth Friendship Center in Kitatada, Ozu City.

キーワード : カヤコオロギ, 生息地, 伊方町, 大洲市

Key words : *Euscyrthus japonicus*, Habitat, Ikata Town, Ozu City

はじめに

カヤコオロギ *Euscyrthus japonicus* の体長は雄が 8 ~ 10mm, 雌が 8 ~ 9mm (産卵器を除く), 体色は黄褐色で, 頭部・胸部・前翅の上面と側面に黒褐色の縦帯がある。前翅は非常に短く, 飛ぶことはできない (小川, 2013)。

本種は, 47 都道府県中, 14 の都県でレッドリストに掲載されている (野生生物調査協会・EnVision 環境保全事務所, 2013)。2003 年発行の「愛媛県レッドデータブック」で, 本種は情報不足 (DD) のカテゴリーに選定されており, 県内の生息地としては四国中央市 (旧伊予三島市) 金砂町と松山市湧ヶ淵が示されている (小川, 2003a)。また, 2013 年発行の「レッドデータブックまつやま 2012」にも掲載されており, カテゴリーは絶滅危惧 I 類 (CR+EN), 市内の生息地としては湧ヶ淵公園が示されている (小川, 2013)。

この他, 県内の本種の生息地が記載されている雑誌としては, 小川 (2003b) の「ばったりぎす」の第 134 号, 小川ほか (2006) の「面河山岳博物館研究報告」の第 2 号がある。小川 (2003b) の「ばったりぎす」の第 134 号で示された生息地は, 四国中央市 (旧伊予三島市) 金砂町平野山長野と上浮穴郡久万高原町 (旧面河村) 渋草狩場である。また, 小川ほか (2006) の「面河山岳博物館研究報告」の第 2 号で示された生息地は, 上浮穴郡久万高原町 (旧面河村) 渋草狩場と上浮穴郡久万高原町 (旧

美川村) 東川東古味である。

一方, Web サイトに掲載されている国土交通省四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所 (2008) の「肱川水系山鳥坂ダム建設事業環境影響評価書」にも生息地が示されている。この報告書で示された生息地は, 大洲市肱川町山鳥坂の 2 地点 (地点 A : 北緯 33 度 27 分 02 秒, 東経 132 度 41 分 42 秒 地点 B : 北緯 33 度 27 分 36 秒, 東経 132 度 42 分 55 秒) である。

上記の雑誌等に掲載された県内の本種の生息地の地名を表 1 に示す。これまでに報告されている本種の生息地は, 5 つの地域 (四国中央市 [旧伊予三島市] 金砂町, 松山市湧ヶ淵, 上浮穴郡久万高原町 [旧面河村] 渋草, 上浮穴郡久万高原町 [旧美川村] 東川, 大洲市肱川町山鳥坂) である。

伊方町・大洲市における本種の生息地

筆者の 1 人の水本により, 伊方町・大洲市における本種の生息地が明らかになっており, ここに報告する。本種の生息地の地名, 緯度・経度, 環境庁自然保護局 (1997) のメッシュコード, 確認日, 確認方法を表 2 に示す。本種の生息地を図 1 (地点①, 地点③, 地点④) と図 2 (地点②) に示す。

2007 年 9 月 23 日, 西宇和郡伊方町高茂で確認された個体を図 3 に, 2007 年 10 月 5 日大洲市北只の国立大洲

* 佐田岬半島生物保全研究会 (〒 796-0003 八幡浜市大平 1-865-2)

** 山口大学教育学部 (〒 753-8513 山口市吉田 1677-1)

* Sadamisaki Peninsula Wildlife Conservation Research Institute, 1-865-2 Ohira, Yawatahama, 796-0003

** Faculty of Education, Yamaguchi University, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi, 753-8513

青少年交流の家で確認された個体を図4に、2012年8月9日、西宇和郡伊方町小島で確認された個体を図5に示す。

地点①の西宇和郡伊方町高茂は見晴山の稜線の南側の地点であり、また、地点③、地点④の伊方町小島は見晴山の稜線の北側の地点である(図1)。見晴山の稜線の南側の草地(通称:高茂草原)と見晴山の稜線の北側の草地(通称:小島草原)は、見晴山の稜線付近の草地(立入禁止の区域)を経て繋がっている。そのため、これらと同じ地域と考え、本稿では見晴山と称する。なお、見晴山の稜線の南北の草地を区別せず、両者を併せて高茂草原と称する場合もある。

おわりに

本稿では、西宇和郡伊方町の見晴山(高茂、小島)と大洲市北只(国立大洲青少年交流の家)の2つの地域を本種が生息している地域として報告した。これらの地域においては、今後も調査を継続して行い、本種の生息状況を確認する必要がある。また、県内の他の地域の生息状況を明らかにするために、調査の範囲を広げる必要がある。

謝辞

ご指導・ご助言いただきました愛媛大学大学院連合農学研究科特定研究員の小川次郎氏に感謝の意を表します。

文献

- 環境庁自然保護局(1997) 都道府県別メッシュマップ 38 愛媛県。自然環境研究センター。索引図73, 索引図76
- 国土交通省四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所(2008) 肱川水系山鳥坂ダム建設事業環境影響評価書。 <http://www.skr.mlit.go.jp/yamatoso/dam/kankyou/jyuran/hyoukasho/6-6-4.pdf> (参照 2014-9-26)
- 小川次郎(2003a)。カヤコオロギ。p.167。In: 愛媛県貴重野生動植物検討委員会編(2003) 愛媛県レッドデータブック-愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物-。愛媛県県民環境部環境局自然保護課。447pp。
- 小川次郎(2003b) 愛媛大学農学部昆虫学研究室所蔵の標本から(4)。ぱったりぎす。第134号。pp.51-53
- 小川次郎・矢野真志・佐伯英人・今川義康(2006) 石鎚山系及び久万高原町の直翅目。面河山岳博物館研究報告。第2号。pp.1-22

小川次郎(2013) カヤコオロギ。p.101。In: まつやま自然環境調査会編(2013) レッドデータブックまつやま 2012 松山市における絶滅のおそれのある野生生物。松山市環境部。256pp。

野生生物調査協会・EnVision 環境保全事務所(2013) カヤコオロギ。日本のレッドデータ検索システム。 <http://www.jpnrdb.com/search.php?mode=map&q=07090100431> (参照 2014-9-26)

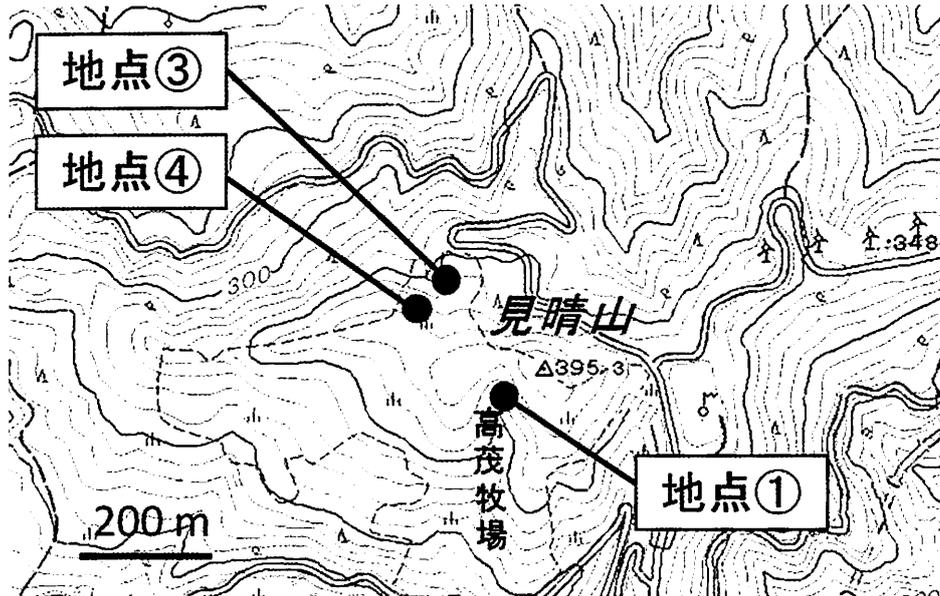
表1 雑誌等に掲載されているカヤコオロギの生息地の地名

雑誌等の名称	「愛媛県レッドデータブック」	「レッドデータブックまつやま 2012」	ぱったりぎす 第134号	面河山岳博物館 研究報告 第2号	肱川水系山鳥坂ダム建設事業 環境影響評価書
発行年	2003年	2013年	2003年	2006年	2008年
生息地の地名	四国中央市 (旧伊予三島市) 金砂町	-	四国中央市 (旧伊予三島市) 金砂町平野山長野	-	-
	松山市湧ヶ淵	湧ヶ淵公園	-	-	-
	-	-	上浮穴郡久万高原町 (旧面河村) 渋草狩場	上浮穴郡久万高原町 (旧面河村) 渋草狩場	-
	-	-	-	上浮穴郡久万高原町 (旧美川村) 東川東古味	-
	-	-	-	-	大洲市肱川町山鳥坂

- : 記載なし

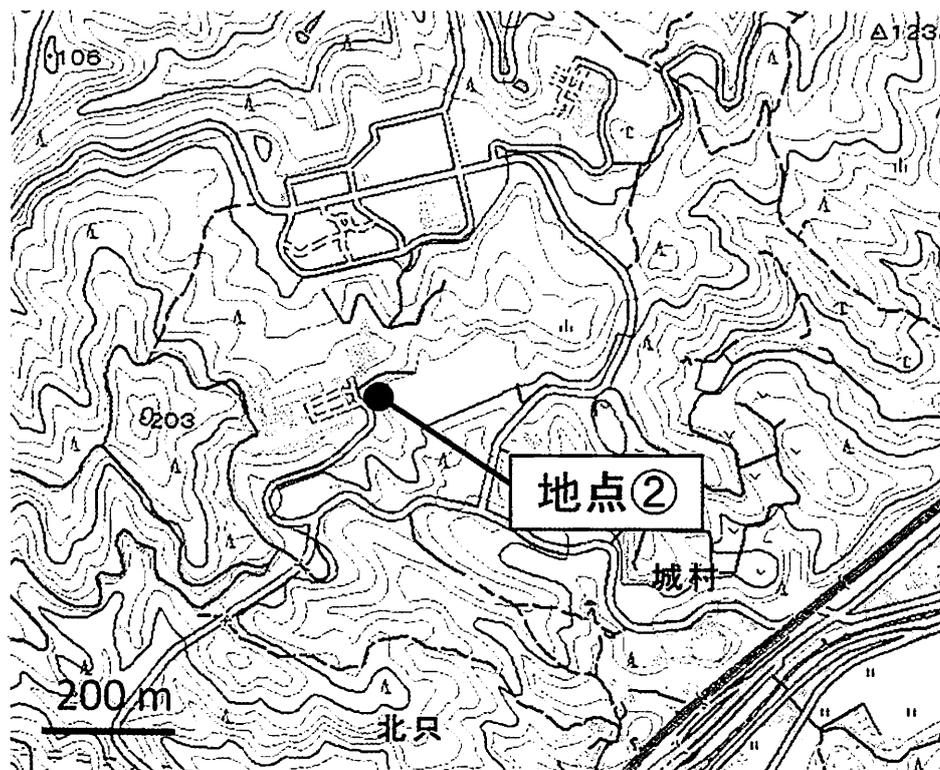
表2 カヤコオロギの生息地の地名、緯度・経度、環境庁自然保護局(1997)のメッシュコード、確認日、確認方法

地点番号	生 息 地			確 認 日	確 認 方 法
	地 名	緯 度 ・ 経 度	環境庁自然保護局 (1997) のメッシュコード		
地点①	西宇和郡伊方町高茂	北緯 33 度 25 分 57 秒 東経 132 度 12 分 21 秒	5032-1116	2007年9月23日	1 ♀ : 撮影 2 ♂ : 目撃
地点②	大洲市北只 (国立大洲青少年交流の家)	北緯 33 度 29 分 46 秒 東経 132 度 32 分 09 秒	5032-1493	2007年10月5日	1 ♂ : 撮影
地点③	西宇和郡伊方町小島	北緯 33 度 26 分 04 秒 東経 132 度 12 分 17 秒	5032-1116	2012年8月9日	1 ♂ : 撮影
地点④	西宇和郡伊方町小島	北緯 33 度 26 分 02 秒 東経 132 度 12 分 16 秒	5032-1116	2014年9月7日	2 ♀ : 目撃



(国土地理院発行の電子地形図 (タイル) を使用)

図1 カヤコオロギの生息地 (地点①, 地点③, 地点④)



(国土地理院発行の電子地形図 (タイル) を使用)

図2 カヤコオロギの生息地 (地点②)

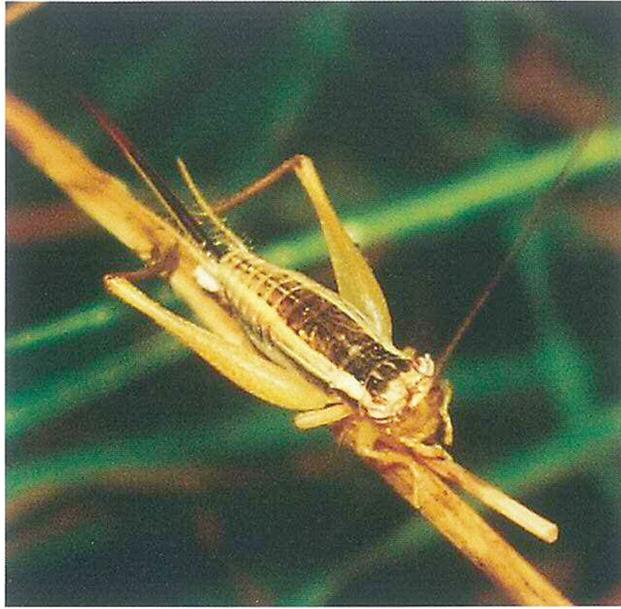


図3 2007年9月23日, 西宇和郡伊方町高茂で確認された個体



図4 2007年10月5日, 大洲市北只の国立大洲青少年交流の家で確認された個体

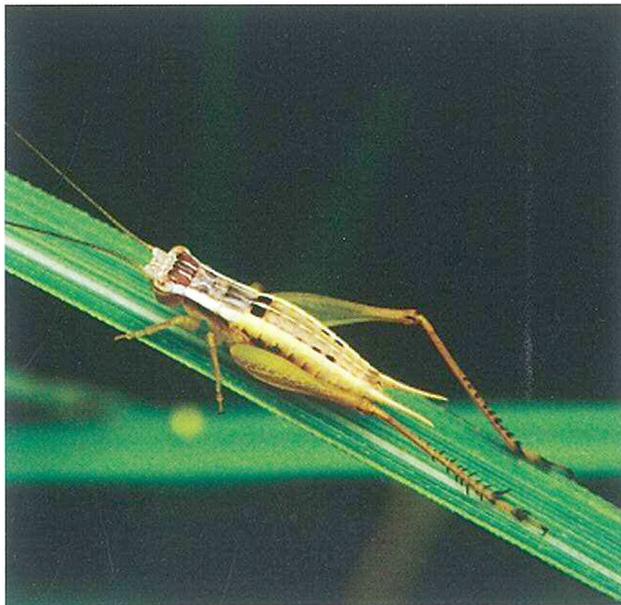


図5 2012年8月9日, 西宇和郡伊方町小島で確認された個体